

必ずお読みください

< ウッデンウォール >

サイディング製品 施工説明書

商品別となっております。各項目をご覧ください。

A：ベベルサイディング 施工説明

B：チャネルサイディング 施工説明

C：本実サイディング（タテ張りサイディング） 施工説明

D：ヨコ張りサイディング 出隅・入隅の納め方

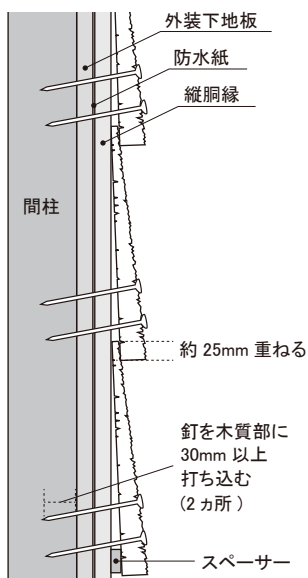
A ベベルサイディング

ベベルサイディングを下地に固定する際、サイディングの重ね部分に釘を打たず、重ね部分のすぐ上（約 5mm）に打ってください。

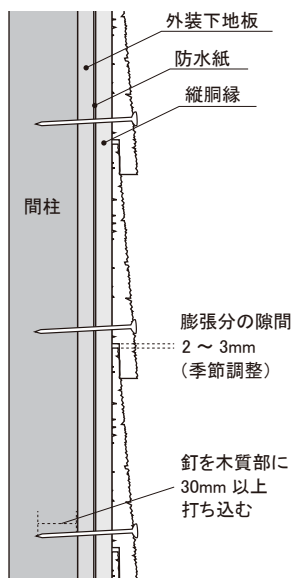
幅が狭い 1×6 タイプは釘打ち 1 カ所、幅が広い 1×8・1×12 タイプは釘打ち 2 カ所をオススメします。

（右記の表ならびに下図を参考にしてください）

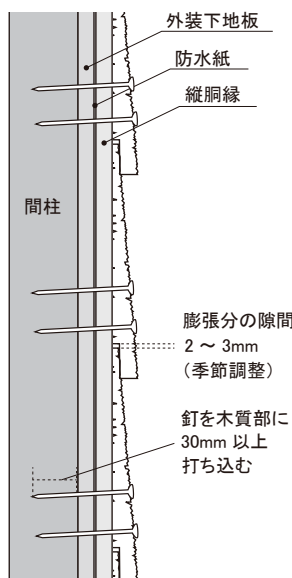
品番	重ね幅	釘打ち箇所
BNWR-165	20 ～ 25mm	※1 ～ 2 カ所
BNWR-125	重ね用シャクリ付（約 14mm）	1 カ所
BNWR-172	重ね用シャクリ付（約 15mm）	2 カ所
BPWR-114	25mm	1 カ所



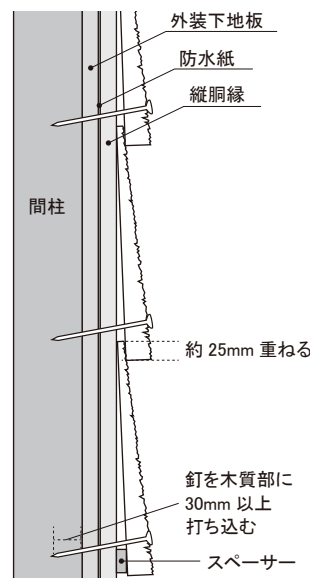
BNWR-165



BNWR-125



BNWR-172



BPWR-114 (BNWR-165)

※外壁で使用する場合は、いずれもラフ面を表にしてご使用ください。

B チャネルサイディング

チャネルサイディングを下地に固定する際、サイディングの重ね部分に釘を打たず、重ね部分のすぐ上（約 5mm）に打ってください。釘打ちは下図 a をご参照ください。

タテ張りの継ぎ目は各々の端を 45 度にカットして、胴縁の上で継ぎ合わせてください。継ぎ目部分の胴縁は、必要に応じて 2 本並びにしてください。出隅はサイディング同士の突き付け、または目地をあけコーキングの充填をしてください。並べ方は下図 b をご参照ください。

ヨコ張りの出・入隅の施工はベベルサイディングと基本的に同じです。

（”D：ヨコ張りサイディング 出隅・入隅の納め方”を参考にしてください）

図 a

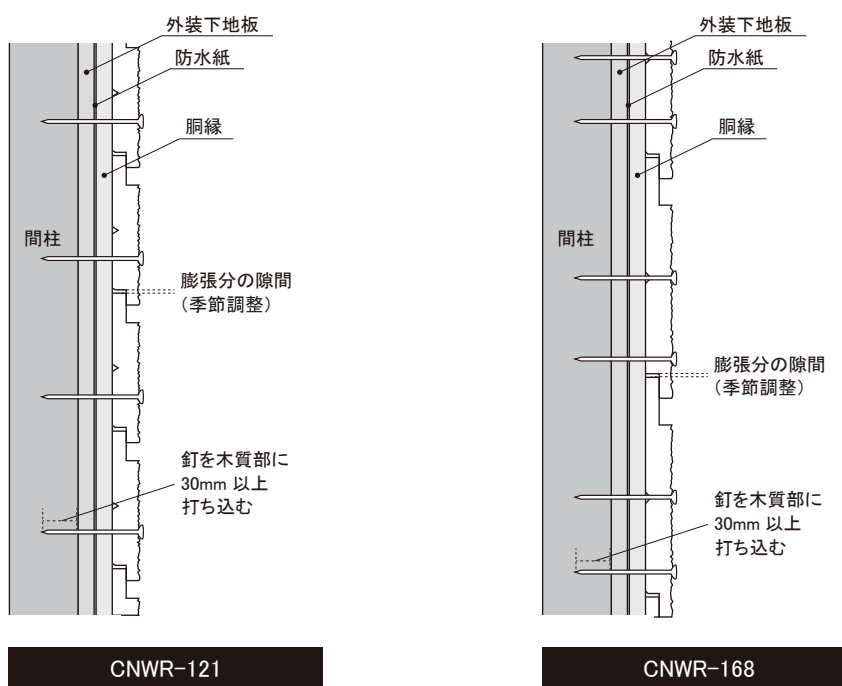
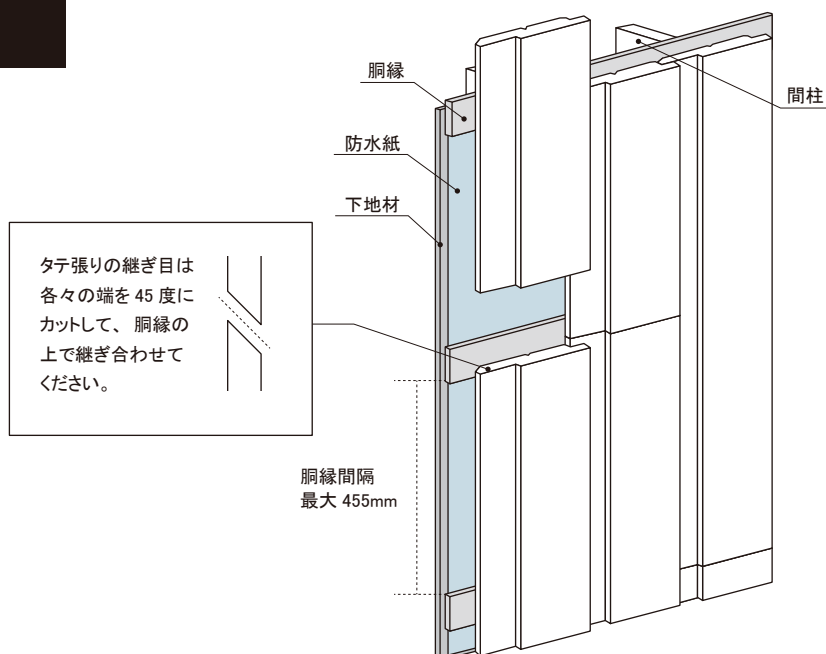


図 b



※外壁で使用する場合は、いずれもラフ面を表にしてご使用ください。

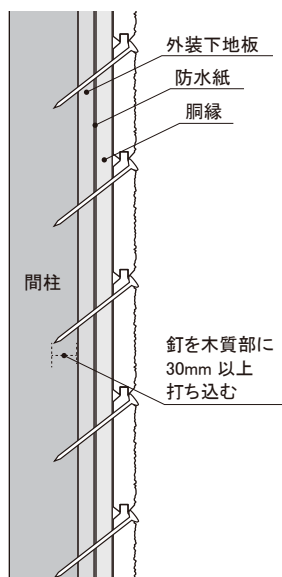
タテ張りの継ぎ目は各々の端を 45 度にカットして、胴縁の上で継ぎ合わせてください。継ぎ目部分の胴縁は、必要に応じて 2 本並びにしてください。釘打ちは下図 c、並べ方は下図 d をご参照ください。

タテ張りの出隅はサイディング同士の突き付け、または目地をあけコーキングの充填をしてください。

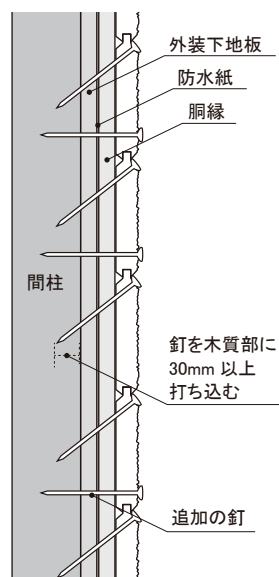
ヨコ張りの出・入隅の施工はベベルサイディングと基本的に同じです。

（”D：ヨコ張りサイディング 出隅・入隅の納め方”を参考にしてください）

図 c

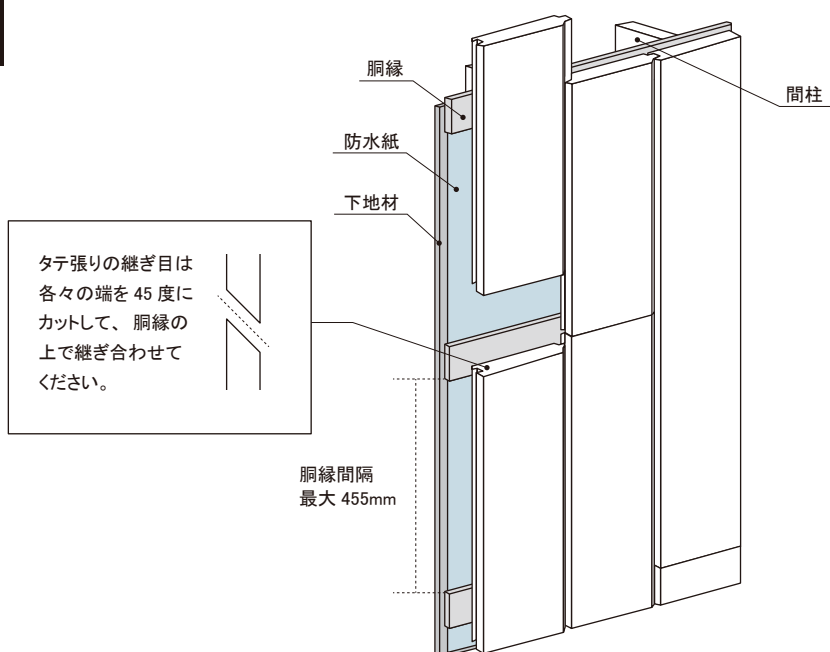


タテ張り
（標準的気候下）



ヨコ張り全般
（高温・乾燥・強風・海沿いのタテ張り）

図 d

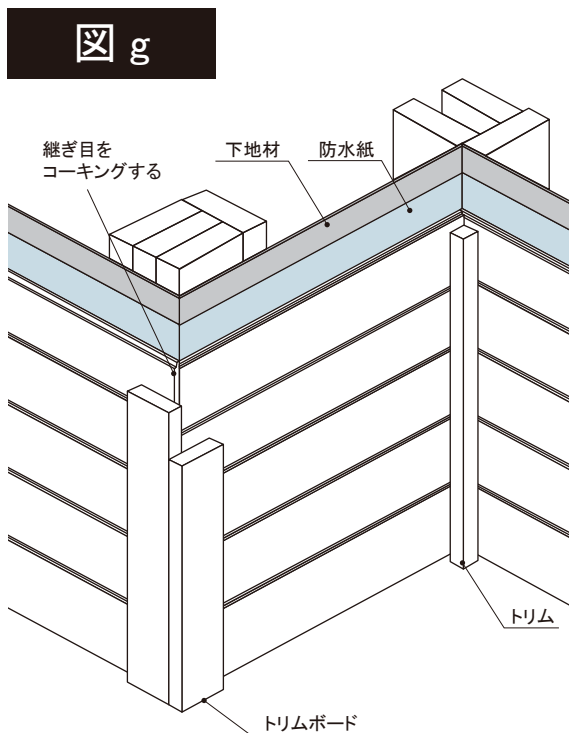
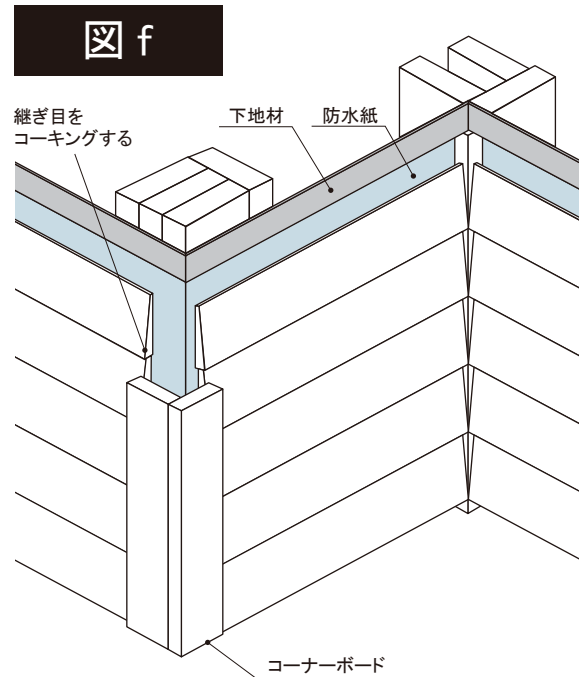
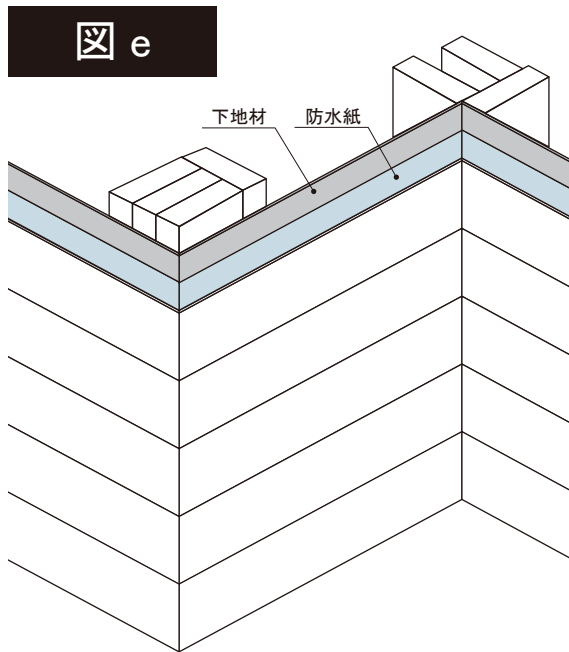


※外壁で使用する場合は、いずれもラフ面を表にしてお使いください。

D ヨコ張りサイディング 出隅・入隅の納め方

ヨコ張りサイディングの出隅・入隅には三つの方法があります。

- ① 留め継ぎを用いた出隅・入隅 → 図 e を参照
- ② コーナーボード ($2 \times 4 = 40 \times 90\text{mm}$) にサイディングを突き付ける場合 → 図 f を参照 / 入隅は 2×2 ($38 \times 38\text{mm}$)
- ③ トリムボード ($1 \times 4 = 18 \times 90\text{mm}$) をサイディングにかぶせる場合 → 図 g を参照 / 入隅は 1×1 ($20 \times 20\text{mm}$)



出隅・入隅のデザインは、施工者の
屋外木工事の経験と技術を考慮して
お選びください。

※外壁で使用する場合は、いずれもラフ面を表にしてご使用ください。